

「君の風になろう」

～アーティスト伊藤誠の素顔と人生～

■番組構成

スペイン・マドリッドの盆踊り大会で20年間にわたり歌い継がれている歌がある。それは「マドリッド音頭」。参加者の大半がスペイン人。現地スペイン人がその動画をYouTubeに投稿し、この素晴らしい歌の作者を教えてほしいと世界に向けて発信。日本語とスペイン語が交錯した絶妙な歌詞。聴く者の心をとらえてはなさない魅惑的なメロディー。それらが一体となってスペイン人の魂に語りかけてくる。現地メディアは、それを真の日西親善交流と高く評価。日本のテレビ局でも最近その様子が紹介され、話題を呼んでいる。その楽曲を創り出した人物こそ、伊藤誠という元銀行員のシンガーソングライターである。

番組では伊藤誠の魅力、彼が織りなす「いのちの歌」の数々を紹介。今回、彼の代表曲をスタジオにてライブ収録。このライブ歌唱映像を番組の縦軸とし、彼の出生地であり歌創りの原点でもある松江での密着取材を敢行、宍道湖の夕陽など松江の美しい風景、思い出の場所を巡る。また、大学時代を過ごし、デビューのきっかけとなった京都を訪ね、古都の美しい風景と共に青春時代の1ページを紹介。

更には、彼の音楽人生の転機ともなったスペインでの海外ロケも敢行。今年日本・スペイン交流400周年の記念イベントに招待され、20年ぶりにマドリードを訪れた伊藤誠に密着。盆踊り会場には2000人も人が集まり、なんとその内の9割がスペイン人という驚くべき様子なども取材。また、在スペイン日本国大使公邸での「伊藤誠コンサート」の様子も紹介。

伊藤誠にとって「いのちの歌」が人生のテーマとなったきっかけ、それは、約8年前の急性心筋梗塞。主治医から「999死に1生」といわれた奇跡の生還。伊藤誠は心の中で誓った、生かされた命、音楽を通じて「いのちの尊さ」を伝えていこうと。音楽家としては異色の人物である伊藤誠。その人間的魅力にも迫る。

■TV放映（既・放映済）

BS-TBS(全国放送) 2014年12月21日(日) 12:00～12:55

山陰放送(島根・鳥取) 2014年12月27日(土) 15:00～15:55



マドリード盆踊り大会



日本国大使公邸コンサート



スタジオライブ収録